

平成26事業年度

# 財務レポート



国立大学法人

北見工業大学

# 教育研究事業の推進 施設・設備の整備

## マイクロ波・ミリ波放射計の導入



寒冷海域における海水状況の測定精度を向上させるため、現地計測に適した可搬性と周波数を持つ放射計を導入した

財源：文部科学省科学研究費補助金 事業費：9百万円

## 表層ガスハイドレートフィールド調査を活用した 教育研究実習プログラム推進事業



学部・大学院におけるカリキュラムへの活用として、国内に加えてバイカル湖やサハラ沖で実施したフィールド実習に約100人の学生が参加して知見を広めた

財源：運営費交付金 事業費：21百万円

## 認証統合型キャンパスネットワークシステムの導入



財源  
運営費交付金  
ほか

事業費  
85百万円  
(複数年)

コンピュータ環境の質的・量的変化への対応とともに、ウィルス等の脅威に対する安全性向上のため、ネットワークシステムの更新を行った

## 誘導結合プラズマ質量分析装置の導入



本学の特色の一つである自然環境保全に関する教育研究を推進するため、水中における微量元素含有量の精密測定を可能とする装置を整備した

財源：設備整備費補助金 事業費：18百万円

新たなエネルギーとして注目されているガスハイドレートの調査を実習として活用した教育や、自然環境保全に関する研究など、オホーツクの地の利を活かした大学機能の強化とともに、教育研究の支援に必要な施設・設備の充実を図りました。

## 第3総合研究棟の新築 第2総合研究棟の改築



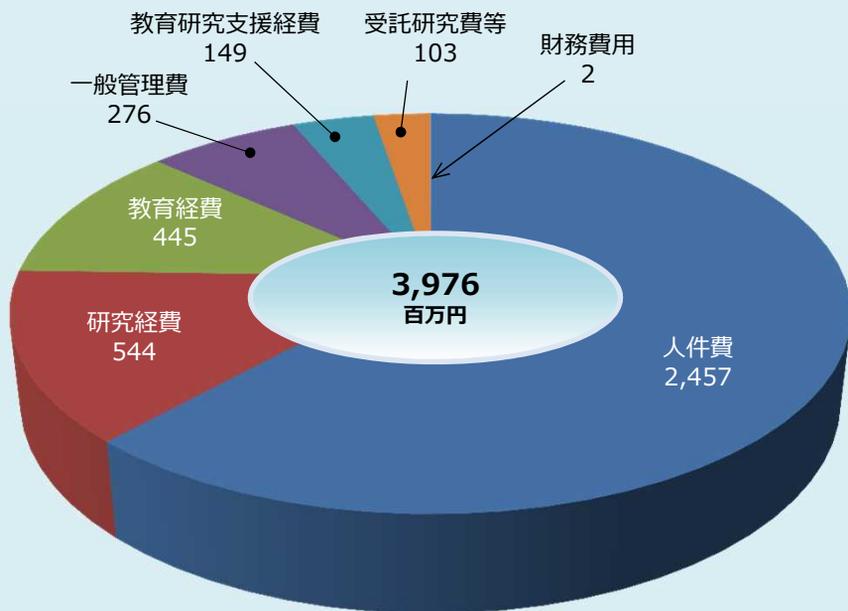
学際的研究の推進や大学院における専攻横断的教育への対応に加えて、教育研究スペースの狭隘解消のため、総合研究棟の充実を図った

財源：施設整備費補助金 事業費：303百万円

# 平成26事業年度の損益報告

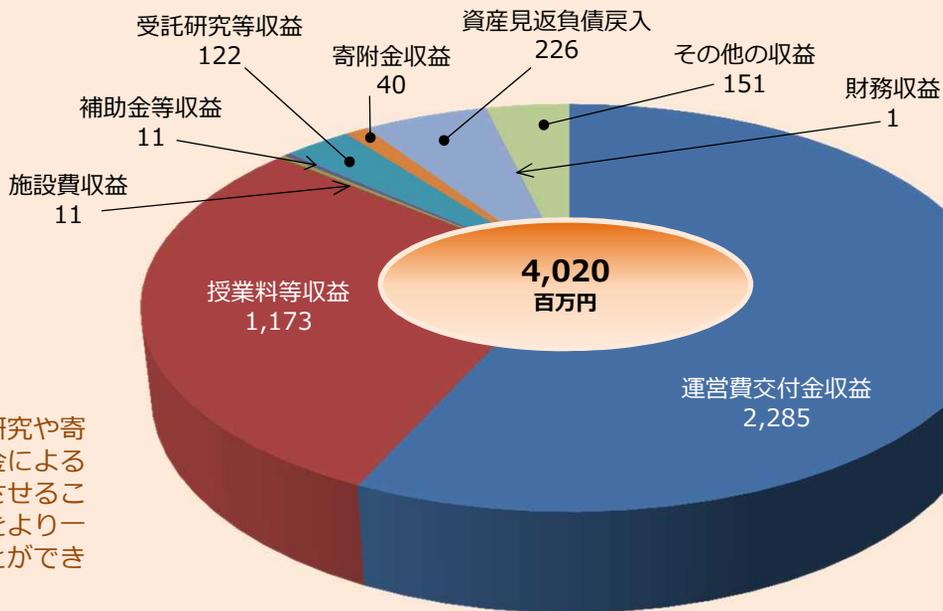
単位:百万円  
(詳細は財務諸表をご覧ください)

## 経常費用



人材育成に直接関連する教育経費の確保については、その充実が更に重要視されるものと考えられることから、人件費や一般管理費を含む他経費とのバランスに、これまで以上の留意が必要となります。

## 経常収益



受託研究、共同研究や寄附などの外部資金による収益基盤を充実させることで、大学運営をより一層安定させることができます。

## 経常利益

経常費用	3,976
経常収益	4,020
経常利益	44

経常利益のうち臨時損失等を除く32百万円を、教育研究の質の向上と組織運営の改善に充てるために、目的積立金として文部科学大臣に承認申請しています。

# 経営努力等

## 経費削減への取り組み

- 北海道内の国立大学等と連携した「給油サービスの共同調達」や「旅費計算業務の外部委託」により、経費削減や事務効率化を推進
- 知的財産の管理体制を見直し、特許等の保有に係る経費を削減
- 図書や定期刊行物の必要性精査による経費削減

## 自己収入確保への取り組み

- ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター（研究企画やマネジメントの強化等を支える人材）の活用などにより、科学研究費助成事業の採択率が向上
- 公用車入替に伴う既存車両の除却を、交換契約から売払契約へ変更したことにより収益が増加

## 不正防止への取り組み

- コンプライアンス教育の受講義務化や競争的資金の申請・使用にあたっての誓約書提出を要件とするなど、不正防止への取組を強化

# 資産の状況

単位：百万円

	平成26年度	平成25年度	増減		平成26年度	平成25年度	増減
資産の部	9,901	10,634	▲733	負債の部	2,905	3,610	▲705
土地	1,566	1,566	0	資産見返負債	1,924	2,000	▲76
建物・構築物	5,741	5,708	33	その他の固定負債	57	53	4
機械装置・工具器具備品	712	799	▲87	運営費交付金債務	125	135	▲10
図書	1,009	1,024	▲15	その他の流動負債	799	1,422	▲623
その他の固定資産	40	106	▲66	純資産の部	6,996	7,024	▲28
現金・預金	807	1,374	▲567	政府出資金	4,333	4,333	0
その他の流動資産	26	57	▲31	その他の純資産	2,663	2,691	▲28

# 北見工業大学の理念と使命

北見工業大学は「人を育て、科学技術を広め、地域に輝き、未来を拓く」を理念に掲げ、高度化・複雑化している科学技術の急速な進展の中で、「個々の専門分野についての基盤的な技術、知識を有するのみならず、学際領域や新しい分野の開拓にも柔軟に対応できる能力を持ち、自然と調和した科学技術の発展と国際社会への対応を念頭においた技術開発を行い得る人材を養成する」ことを使命としている。このことをもって、本学は地域社会の発展はもとより、国家・国際社会の安全と平和および文化の進展に貢献する。

# 北見工業大学の基本目標

向学心を喚起し、創造性を育み、将来の夢を拓く教育  
個性に輝き、知の世紀をリードし、地域特色のある研究  
地域のニーズに応え、地域をリードし、地域の発展に貢献  
国際的視野を踏まえた教育研究、学生・教職員の国際化を推進